

CASIO®**5620*JA#****取扱説明書****5620**

このたびは、本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

◆十分に充電してお使いください

- こまめに時計の文字板に光を当てて充電してください。



ソーラー充電について…P.12

✓重要

- 本書では本機の主要部分のみ説明しています。
- ウェブに接続できない場合に備えて、下記のウェブサイトから取扱説明書（操作ガイド）を登山に携行される機器にダウンロードしてください。

本機の詳しい取扱説明書（操作ガイド）およびQ&Aについては、下記ウェブサイトをご覧ください。



<https://casio.jp/support/wat/>

◆高度計測、方位計測について

- 専門的な計測器ではありません。計測機能は、目安としてお使いください。
- 高度計は、計測した気圧を高度に換算した値を表示します（相対高度計）。そのため、同じ場所で計測する場合でも時間の経過により気圧が変化すると、表示する値も変化します。また、標高や海拔高度とは異なる値を表示することがあります。登山などでご使用いただく際は、地図や標高標識など正しい高度が確認できるたびに、こまめに補正しながら計測することをおすすめします。
- 方位計を本格的な登山などでご使用になるときは、必ず予備のコンパス（方位磁針）を携帯してください。予備のコンパスと比較して計測した方位が異なる場合は、正しい方位を計測するため、2点補正をしてください。
 - 永久磁石（磁気アクセサリなど）、金属類、高圧線、架線、家庭電化製品（テレビ、パソコン、携帯電話など）の近くのような、強い磁力がある場所では正しく計測や補正ができません。

✓重要

- 高度計の補正、方位計の補正については、ウェブサイトの取扱説明書（操作ガイド）をご覧ください。

この時計の特長

この時計は、次の機能を備えています。

◆光で発電して動きます

→ P.12

太陽や照明の光によって発電します。電気エネルギーを充電しながら時計は動作します。

◆正確な時刻がわかります

→ P.24

時刻情報を乗せた電波を受信し、正確な時刻を表示します。

◆方位がわかります

→ P.14

北の方向や目標の方位を調べることができます。

◆高度を計測できます

→ P.14

現在地の高度を計測できます。

◆気圧を計測できます

→ P.16

◆温度を計測できます

→ P.16

◆高度の記録を確認できます → P.16

**◆ストップウォッチとして
使えます** → P.16

経過時間を計測できます。

◆タイマーとして使えます → P.16

予定の時間になると、タイムアップ音でお知らせします。

◆アラームを設定できます → P.16

設定した時刻になると、アラーム音でお知らせします。

**◆ワールドタイムがわかり
ます** → P.16

世界29都市(29タイムゾーン)とUTC(協定世界時)の時刻を表示できます。

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



危険

死亡または重傷を負う可能性が大きい内容を示しています。



警告

死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意

軽傷を負う可能性および物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。





⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。




二次電池について


-  **本機から二次電池を取り出さない。**
発熱、破裂、発火の恐れがあります。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤って飲み込むことがないように注意してください。特に小さなお子様にご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。電池を飲み込むと、短時間で化学やけどや粘膜組織の貫通などを引き起こし、死亡事故の原因になります。
-  **二次電池の交換は、必ず、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店に依頼する。**
指定外の電池を使用したり、電池の交換を誤ると、発熱、破裂、発火の恐れがあります。



スキューバダイビングに使用しない

-  本機をスキューバダイビングに使用しない。
本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

分解・改造しない

-  本機を分解・改造しない。
けがの原因となります。



注意

お手入れについて



ケース・バンドは常に清潔にして使う。

ケース・バンドは汚れからさびが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。特に、海水に浸した後、放置するとさびやすくなります。

かぶれについて



時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していません。使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

1. 金属・皮革に対するアレルギー
2. 時計の本体およびバンドの汚れ・さび・汗など
3. 体調不良など

バンドは余裕を持たせて使用する。

きつくしめると、汗をかきやすく、空気の通りが悪くなり、かぶれを起こす恐れがあります。

「抗菌防臭バンド」は細菌の繁殖とにおいの発生を抑えます。皮膚のかぶれを防ぐものではありません。

かぶれなど、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

データ保護について

- ❗ データは、必ずノートなどに控えを取る。
電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えます。

ご使用にあたって

- ❗ 時計の表示は、安全な場所で確認する。
思わぬ転倒や、けが、事故の原因となることがあります。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車などの運転中にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にもご注意ください。
- ⚠ 時計の着脱に注意する。
バンドの中留で爪を傷つける恐れがあります。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。
- ❗ 就寝時は時計を外す。
思わぬけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。
- ❗ 小さなお子様と接するときは、時計を外す。
お子様のけがやアレルギーによるかぶれの原因となることがあります。

ご使用にあたって

- ❗ 時計本体(裏ぶたを含む)やバンドに製品保護シールが付いている場合は、ご使用になる前に必ずはがす。シールをはがさずにご使用になると、「時計本体やバンド」と「シール」との隙間に汚れが付着し、さびやかぶれの原因となることがあります。

オートライト作動時のご使用について

- ⊘ オートライトが作動する状態で、腕につけて自動車などの運転をしない。不意のライト点灯が運転を妨げて、交通事故の原因となることがあります。

目次

この時計の特長.....	2
安全上のご注意.....	4
ソーラー充電について	12
充電の方法	12
パワーセービング機能(節電機能)	13
充電に関する警告	13
時計の使い方	14
時刻、方位、高度の切り替え.....	14
方位、高度を除くモードの切り替え.....	16
時計の針が合わない場合	22
時刻や日付を自動的に合わせる.....	24
自動受信.....	26
時刻や日付を手動で合わせる	28
各モードの設定.....	30
都市の設定、タイマーやアラームの設定.....	30

製品仕様.....	32
都市コード一覧表	38
ご使用上の注意.....	40
お手入れについて	46
本製品で使用している電池について....	48
金属バンドの駒詰めについて	49

ソーラー充電について

この時計は、ソーラーパネル（文字板）で発電した電気を充電しながら使用します。ご使用の際は、ソーラーパネルに光が当たるように心がけてください。

充電の方法



時計を腕から外しているときは、光が当たる明るい場所に置いてください。



腕につけているときは、ソーラーパネルに衣類の袖がかからないように心がけてください。

注意

- 充電の際、光源の条件や環境によっては時計本体が非常に高温になることがありますので、火傷をしないように注意してください。
- また、以下のような高温下での充電は避けてください。
 - 炎天下に駐車している車のダッシュボードの上
 - 白熱灯などの発熱体に近い所
 - 直射日光が長時間当たり、高温になる所

パワーセービング機能(節電機能)

節電状態になるまでの所要時間	針の機能の状態
午後 10 時から午前 6 時の間に 暗い場所に置いてから約 1 時間	秒針のみ 12 時位置で 停止します。
暗い場所に置いてから約 1 週間	すべての針が 12 時位 置で停止します。

参考

- 節電機能は、以下の方法で解除します。
 - ボタンまたはりゅうずを操作する
 - 時計を明るい場所に置く

充電に関する警告

充電不足になると警告が現れ、使用できる機能が制限されます。警告が出たら速やかに充電してください。

<充電不足>

秒針が 2 秒ごとに動きます。 全ての針が 12 時位置で停止します。

<充電切れ>



バッテリー充電警告機能

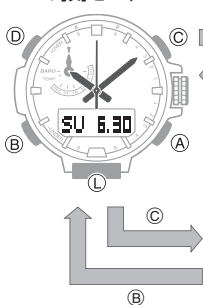


時計の使い方

時刻、方位、高度の切り替え

- どのモードでも **Ⓑ** ボタンを2秒以上押し続けると時刻モードに戻ります。
- **☒** (14ページ～15ページ) がないモードから、方位、高度の各計測モードに切り替えるには、時刻モードに切り替えてください。

時刻モード



Ⓐ

方位計測モード

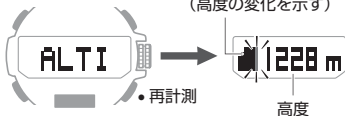
- 目標に時計の12時位置を向けて**Ⓒ** ボタンを押します。
- 秒針が北の方向を示します。

• 再計測



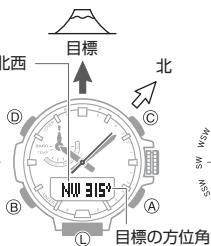
高度計測モード

高度傾向グラフ
(高度の変化を示す)

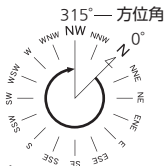


目標の方位：北西

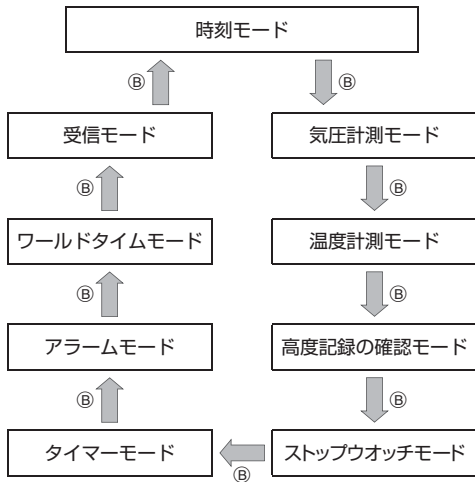
N：北
E：東
W：西
S：南



方位角の見方

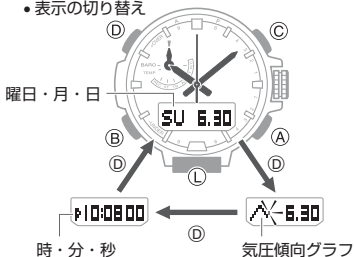


方位、高度を除くモードの切り替え

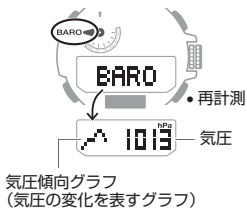


時刻モード

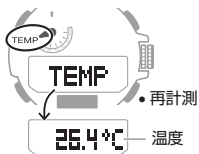
- 表示の切り替え



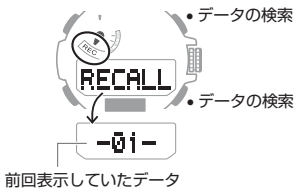
気圧計測モード



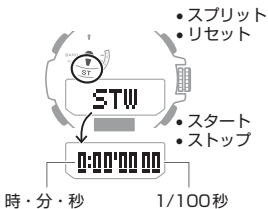
温度計測モード



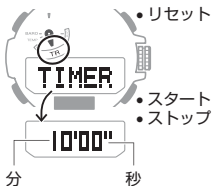
高度記録の確認モード



ストップウォッチモード



タイマーモード



アラームモード

- オンとオフの切り替え

- アラーム・時報の選択



- アラーム・時報の選択

前回の表示が時報の場合
時報オフ

SIG OFF

前回の表示がアラームの場合
アラームオフ

AL1 OFF

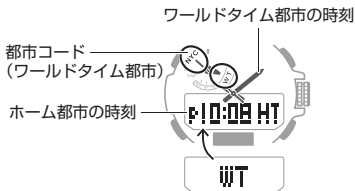
アラーム番号

アラームオフ

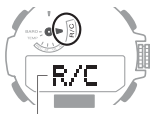
A12:00OFF

午前・時・分

ワールドタイムモード



受信モード



- 前回の受信月日と受信時刻を交互に表示
- これまで一度も受信に成功していないときは、[-:--]と[-:--]を表示

時計の針が合わない場合

時計が強い磁気や衝撃を受けるなどの原因により、針の位置が合わなくなることがあります。

- デジタル表示とアナログ部(針)の時刻が合わない
- 電波を受信したのにアナログ部(針)の時刻が合わない
- 時刻表示以外でも針の位置がおかしい

この状態になっている場合、ウェブサイトの取扱説明書(操作ガイド)の「針の位置補正」をご覧ください。時計の針の位置を補正してください。

- 下記カシオウェブサイトでも説明や動画などをご覧くださいいただけます。

<https://casio.jp/support/wat/>

時刻や日付を自動的に合わせる

この時計は、時刻情報に乗せた標準電波（以降、電波）を受信することで、正確な時刻と日付を表示します。

- 電波の受信には自動受信と手動受信があります。普段は自動受信で時刻や日付を合わせてください。
- 電波を受信できない地域では手動で時刻や日付を合わせてください(28ページ)。
- 手動受信および電波の受信範囲については、ウェブサイトの取扱説明書(操作ガイド)をご覧ください。

✓ 重要

- 電波を受信するためには、受信に対応する都市をホーム都市に設定しておく必要があります。
 - TOKYO(TYO)：日本の標準電波
 - HONG KONG(HKG)：中国の標準電波
 - NEW YORK(NYC)、CHICAGO(CHI)、DENVER(DEN)、LOS ANGELES(LAX)、ANCHORAGE(ANC)、HONOLULU(HNL)*：アメリカの標準電波
 - LONDON(LON)、PARIS(PAR)、ATHENES(ATH)：イギリス／ドイツの標準電波
- * アンカレジ(ANCHORAGE/ANC)およびホノルル(HONOLULU/HNL)は電波の受信範囲外ですが、条件が良いときは受信できます。

参考

- 日本で使用する場合は、購入時の初期設定から変更する必要はありません。
購入時の初期設定は以下の通りです。
 - 都市：東京(TOKYO/TYO)
 - サマータイム設定：AUTO
- 海外旅行など、日本以外のタイムゾーンで使用するときは、移動先に合うホーム都市を設定します。

自動受信

✓ 重要

- 受信の際は、時刻モードにしてください。

 時計の使い方…P.14

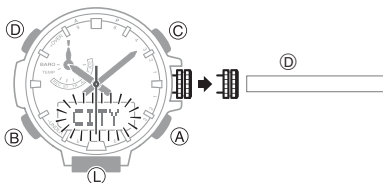
● 午前12時(深夜12時)から午前5時の間、窓際に、時計を置いたままにしてください。

- 受信に成功すると、自動的に時刻と日付が合います。
- 詳しい操作はウェブサイトの取扱説明書(操作ガイド)をご覧ください。

時刻や日付を手動で合わせる

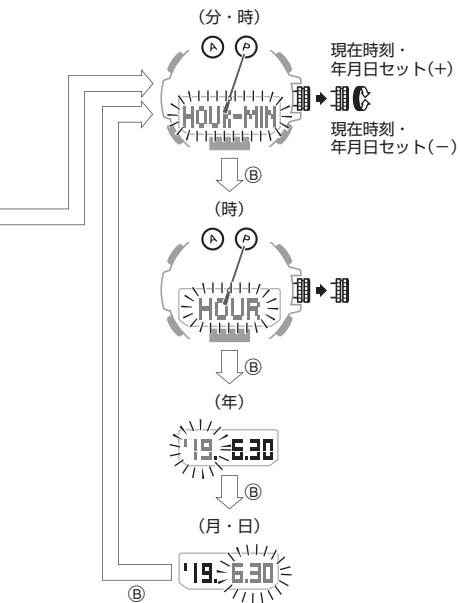
● 時刻モードでりゅうずを引きます。

① ボタンを押した後は、② ボタンを押すごとに設定できる箇所が移動します。



- ねじ込みを左回して緩めて引きます。
- 操作が終わったら、りゅうずは、必ずねじ込みをしてください。

- 詳しい操作はウェブサイトの取扱説明書(操作ガイド)をご覧ください。



各モードの設定

✓ 重要

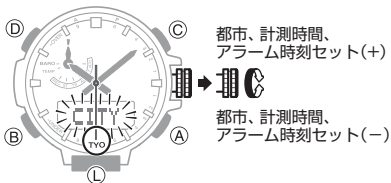
- 防水性能の低下や衝撃を受けた際の損傷を防ぐため、りゅうずを使う操作が終わったら必ずねじ込みをしてください。
- 詳しい操作や計測値（方位計測、高度計測、気圧計測、温度計測）の補正については、ウェブサイトの取扱説明書（操作ガイド）をご覧ください。

都市の設定、タイマーやアラームの設定

お使いになるときは、りゅうずを左回しにしてねじ込みを緩めてください。

● 各モードでりゅうずを引いて、設定します。

- 時刻モード：ホーム都市の設定
- タイマーモード：計測時間の設定
- アラームモード：アラーム時刻の設定
- ワールドタイムモード：ワールドタイム都市の設定



(例：ホーム都市設定)

- アラームモードでは、**①**または**③**ボタンでアラーム番号を選んでから、りゅうずを引いて回してください。りゅうずを引いた状態で**②**ボタンを押すと「時」と「分」の切り替えができます。

製品仕様

精度：電波受信による時刻修正ができない場合は、平均月差±15秒

基本機能：アナログ部
時・分(10秒運針)・秒
デジタル部
時・分・秒・月・日・曜日、気圧傾向グラフ、午前(A)/午後(P)/24時間制表示、フルオートカレンダー(2000～2099年)

電波時計機能：自動受信・手動受信
受信日時確認機能
サマータイム自動切り替え
受信局自動選択機能 (JJY、MSF/DCF77で対応)
受信電波 コールサイン：
JJY(40kHz/60kHz)、
WWVB(60kHz)、MSF(60kHz)、
DCF77(77.5kHz)、
BPC(68.5kHz)
自動受信オン/オフ切り替え機能

方位計測機能：計測範囲 0°～359°
計測単位 液晶部 1°、針部 6°
方位連続計測（1分）、北方位指針機能、方位補正機能（2点補正、磁気偏角補正）

高度計測機能（相対高度計）：計測範囲 -700m～10,000m
表示範囲 -3,000m～10,000m
（高度補正により、上記の範囲内で、任意の10,700mの表示が可能）
計測単位 1m
高度計測間隔設定（2分／5秒）、高度補正機能、高度傾向グラフ、高度差計測機能（-100～+100m／-1,000～+1,000m）、高度メモリー機能（手動記録データ：ボタン操作で高度、年月日、および時刻を最大30本メモリー、自動記録データ：最高高度、最低高度、積算上昇高度、積算下降高度を1本メモリー）

気圧計測機能：計測範囲 260hPa～1,100hPa
表示範囲 260hPa～1,100hPa
計測単位 1hPa
気圧調整機能、気圧傾向グラフ、
気圧差インジケータ、気圧傾向イン
フォメーション

温度計測機能：計測範囲 -10.0°C ～ 60.0°C
表示範囲 -10.0°C ～ 60.0°C
計測単位 0.1°C
温度調整機能

センサー精度：

- 方位センサー 計測精度 $\pm 10^{\circ}$ 以内
(精度保証温度範囲 10°C ～ 40°C)
方位の針表示では ± 2 目盛以内
- 圧力センサー 計測精度 $\pm 3\text{hPa}$ 以内
(高度計測精度 $\pm 75\text{m}$ 以内)
 - 精度保証温度範囲 -10°C ～ 40°C
 - 強い衝撃を与えたり、極端な温度環境
下に放置したりすると、精度に対して
悪影響を与えることがあります。
- 温度センサー 計測精度 $\pm 2^{\circ}\text{C}$ 以内
(精度保証温度範囲 -10°C ～ 60°C)

- ストップ : 計測単位 1/100秒
- ウォッチ機能 計測範囲 23時間59分59秒99
(24時間計)
- 計測機能 通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
- タイマー機能 : セット単位 1分
計測範囲 60分
計測単位 1秒
タイマー報音時間 10秒間
- アラーム機能 : 時刻アラーム
アラーム数 5本
セット単位 時・分
アラーム報音時間 10秒間
時報 毎正時に電子音で報知
- ワールドタイム : 世界29都市 (29タイムゾーン) と機能
UTC (協定世界時) の時刻を表示、サマータイム設定機能、都市入れ替え機能、UTCダイレクト呼び出し機能

そ の 他：LEDライト(液晶部)、紫外線LEDライト(針部)、ライト点灯時間切り替え、フルオートライト、モニターアラーム、針位置自動補正機能、パワーセービング機能、充電量の表示(バッテリーインジケータ)、操作音の設定/解除、針退避機能

使 用 電 池：二次電池

持 続 時 間：約6か月

(ライト1.5秒/日、電子音10秒/日、方位計測20回/月、登山1回/月(高度計測 約1時間、気圧傾向インフォメーション計測 約24時間)、気圧傾向グラフ2時間おきに計測、電波受信4分/日、表示点灯18時間/日使用した場合)

改良などのため、仕様は予告なく変更されることがあります。

都市コード一覧表

コード		タイムゾーン	都市名
UTC(協定世界時)		0	
LONDON	LON	0	ロンドン
PARIS	PAR	+1	パリ
ATHENS	ATH	+2	アテネ
JEDDAH	JED	+3	ジェッダ
TEHRAN	THR	+3.5	テヘラン
DUBAI	DXB	+4	ドバイ
KABUL	KBL	+4.5	カブール
KARACHI	KHI	+5	カラチ
DELHI	DEL	+5.5	デリー
KATHMANDU	KTM	+5.75	カトマンズ
DHAKA	DAC	+6	ダッカ
YANGON	RGN	+6.5	ヤンゴン
BANGKOK	BKK	+7	バンコク
HONG KONG	HKG	+8	香港
TOKYO	TYO	+9	東京
ADELAIDE	ADL	+9.5	アデレード
SYDNEY	SYD	+10	シドニー
NOUMEA	NOU	+11	ヌーメア

コード		タイムゾーン	都市名
WELLINGTON	WLG	+12	ウェリントン
PAGO PAGO	PPG	-11	パゴパゴ
HONOLULU	HNL	-10	ホノルル
ANCHORAGE	ANC	-9	アンカレジ
LOS ANGELES	LAX	-8	ロサンゼルス
DENVER	DEN	-7	デンバー
CHICAGO	CHI	-6	シカゴ
NEW YORK	NYC	-5	ニューヨーク
HALIFAX	YHZ	-4	ハリファックス
RIO DE JANEIRO	RIO	-3	リオデジャネイロ
PRAIA	RAI	-1	プライア

参考

- この表は2018年7月現在作成のものです。
- この表にない都市や地域では、同じタイムゾーンの都市コードをホーム都市に設定してください。
- ホーム都市、ワールドタイム都市やサマータイムの設定に関する詳しい操作は、ウェブサイトの取扱説明書（操作ガイド）をご覧ください。

ご使用上の注意

■防水性

- 防水時計は時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

表示	時計の表面または裏ぶたに表記	日常生活用防水	日常生活用強化防水		
		「BAR」表記無し	5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンドайビング(素潜り)	×	×	○	○

- 専門的な潜水＝スキューバダイビング(空気ボンベ使用)でのご使用はお避けください。
- 時計の表面または裏ぶたに「WATER RESIST」または「WATER RESISTANT」と表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、以下のご使用はお避けください。
防水性能の低下や、ガラスの内側が曇る原因になります。
 - 「水中で」および「時計に水分がついた状態で」りゅうずやボタンを操作すること
 - 入浴のときに使用すること
 - 温水プールやサウナなどの高温多湿な環境で使用すること
 - 時計を手につけたまま手洗い／洗顔／家事などをするとき、石鹸や洗剤を使うこと

- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れを拭き取ってください。
- 防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行いますので、必ず「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。
- 防水時計の一部にデザイン上、皮革バンドを使用しているモデルがありますが、皮革バンド付の状態、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。夏季に高温の室外から室内に入りエアコンの吹き出し口付近で冷気にさらされたり、冬季に暖かい室内から出て屋外の冷気や雪に触れた場合など、外気と時計内部の温度差が大きくなることによって曇る時間が長くなる場合があります。
 なお、曇りが消えなかったり、時計内部に水が残っている場合は、ただちにご使用をやめて、修理を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■バンド

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- バンドは、劣化やさびなどにより、切れたり外れたりすること、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。これらは、時計の落下や紛失、けがの原因となります。バンドは常にお手入れをして清潔な状態でご使用ください。
- バンドに弾力性がなくなる、ひび割れ、変色、緩み、接合部のピンの飛び出しや抜け落ちなどの異常がある場合は、ご使用をやめてください。点検・修理（有償）や新しいバンドとの交換を、「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。

■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や+40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/BABY-G/G-MS）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

- アナログ時計やコンビネーション（アナログとデジタル）時計は、針を動かすために磁石の性質を利用したモーターを駆動させる方式を採用していますが、このモーターは強い磁気（オーディオ機器のスピーカー、磁気ネックレス、携帯電話など）を発生する器具に近づけるとモーターの回転に影響を受け、針の「遅れ・進み・止まり・誤った時刻表示」などの原因となります。
- 製品自体が磁気を帯びますと精度に影響を与えますのでお避けください。なお、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれら含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などを拭き取り、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂部品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂部品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取り、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分を拭き取って、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- ご使用状態や保管環境により異なりますが、日々のご使用や長期保管によって劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

■皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が皮革バンドに移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに柔らかい布などで軽く拭いて、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。
ご注意：皮革バンドは、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属部品について

- 金属は、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さびが発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などでよく拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、よく乾燥させてください。
- ときどき、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹼水がかからないようにしてください。

■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性の良い柔らかい布で拭き取り、常に清潔にご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

■データ保護について

- 電池切れや電池交換および故障修理の場合、データ内容はすべて消えてしまいますのでご了承ください。また、故障・修理・電池交換等に起因するデータの消失による損害および逸失利益等につきましては、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。なお、大切なデータはノートなどに控えをとっておいてください。

■センサーについて

- 本機のセンサーは精密機器ですので、絶対に分解しないでください。また、センサー部を細い棒などでついたり、ゴミ・ほこりなどが入らないようご注意ください。なお、海水に浸したときは、必ず真水で洗い流してください。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

時計も衣類同様、直接身につけるものです。長くお使いいただくために、汚れ・汗・水分などは柔らかい布などでこまめに拭き取り、常に清潔な状態でご使用ください。

- 海水や泥がついた場合は、真水でよく洗い流してください。
- 金属バンドおよび樹脂バンドの金属部品は、柔らかい歯ブラシに中性洗剤を水で薄めた液や石鹼水をつけて、こすり洗いをしてください。その後、洗剤成分を水でよく洗い流し、柔らかい吸湿性の良い布などで水分を拭き取ってください。なお、洗うときは「調理用ラップを巻く」などして、時計本体に洗剤や石鹼水がかからないようにしてください。
- 樹脂バンドは、水で洗い、柔らかい布などで水分を拭き取ってください。また、樹脂バンドの表面にシミのような模様が発生することがありますが、人体および衣類への影響はありません。布などで拭き取ってください。
- 皮革バンドは、水や汗がついた場合には、柔らかい布などで軽く拭いてください。
- りゅうずやボタンや回転ベゼルは、長期間操作しないと動きが悪くなる場合があります。ときどき、りゅうずや回転ベゼルの回したり、ボタンを押ししたりしてください。

■お手入を怠ると

〈さび〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。
 - 汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- さびが発生すると、金属部分に鋭利な箇所ができたり、接合部のピンが飛び出したり抜け落ちたりすることがあります。異常に気がついた場合は、ご使用をやめて、修理(有償)を「修理お申込み先」またはお買い上げの販売店にお申し付けください。
- 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやさびがしみ出して、衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドや樹脂ベゼルは、汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮革バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

本製品で使用している電池について

- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
- 二次電池は、ソーラーパネルが受ける光により充電されますので、一次電池のような定期的な電池交換の必要はありません。ただし、二次電池は長期的なご使用や使用環境により容量や充電効率が低下しますので、充電しても「使用できる時間が短くなった」と感じたときは、「修理に関するお問合せ先」またはお買い上げの販売店にご相談ください。ご希望により保証期間経過後は有料で充電点検調整いたします。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンド(フリータイプの中留構造バンド※を除く)の駒詰めには専用の工具が必要となります。

お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはけが等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。

なお、「修理お申込み先」においても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。

詳しくは、「修理に関するお問合せ先」へお問い合わせください。

※ 中留をスライドさせて長さ調整するフリータイプのバンドでは、駒の取り外しはできません。

(例)

